

# 飛驒地域議員研修会を開催

## 人口減少 ～岐阜県と飛驒地域の現状と課題～



平成29年10月31日、飛驒地域議長サミット※主催による飛驒地域議員研修会が3市1村の議会議員55人が参加のもと飛驒市で開催されました。

当日は、飛驒市の都竹市長から「人口減少・岐阜県と飛驒地域の現状と課題」とのテーマでご講演をいただきました。

※議長サミットとは…飛驒市・下呂市・白川村・高山市の3市1村の正副議長で構成する会議

### ◎岐阜県人口動向

- ▶岐阜県の人口は、2005年頃から減少を続け、2045年には約151万人に(約52万人の大幅減)になる。
- ▶なぜ、人口が減少しているのか? → 死亡数が出生数を上回る自然現象に転じたことに加え、転出者が転入者を上回る社会現象(転出超過)が続くことが原因
- ▶転出超過の中心は20代の若い世代で、職を求めて県外へ出て行く。

### ◎飛驒地域の人口動向

- ▶飛驒地域の人口は、現在14万9千人で一貫して減少中、特に2005年頃から急減しており2040年には約10万人になる。
- ▶死亡数が出生数を上回る「自然減少」は年1千人を超え、死亡数は年2千人を超えている。

### ◎少子化の3つの要因は

- ①母となる世代の女性人口の減少 → 出生率が維持できても、生まれる子どもの数は減る
- ②未婚者の増加 → 生涯未婚率(50歳時点で結婚したことがない人の割合)も、県は男性の20.1%、女性10.0%に上昇  
全国では4人に1人、女性7人に1人が生涯未婚
- ③晩婚化及び晩産化 → 岐阜県でも平均初婚年齢は上昇の一途、2015年は男性30.4歳、女性28.5歳であり、晩婚化が進むと子どもの数は減少する傾向がある

### ◎人口減少に地域はどう対応すべきか?

人口減少は不可避の現実として、対応と適応の戦略で社会の仕組みや制度・ライフスタイルを変えること。

#### 対策①: 対応戦略 = 少子化対策

- 結婚の促進(見合いに代わる新たな出会いの場づくり)
- 20～30代の経済的安定(正規雇用・実質収入増)
- 女性の妊孕性(妊娠する力)に関する教育
- 第2子以降の出産への支援策

効果が出るのは30～50年先 → 費用対効果だけで考えず子孫のためにやる!

#### 対策②: 適応戦略 = 人口減少を前提に影響の軽減化

- 制度や仕組み、ビジネススタイルやマーケット、個人の行動形態、考え方を変える
- 人口減少のメカニズムを理解し、自分にできることを考える
- 失敗覚悟で工夫を凝らす
- 交流人口で補う

必要なのはカネではなく知恵 → 失敗を恐れずチャレンジする勇気!